

2026年3月期 第3四半期決算説明資料 トレイダーズホールディングス株式会社

証券コード：8704
2026年1月30日



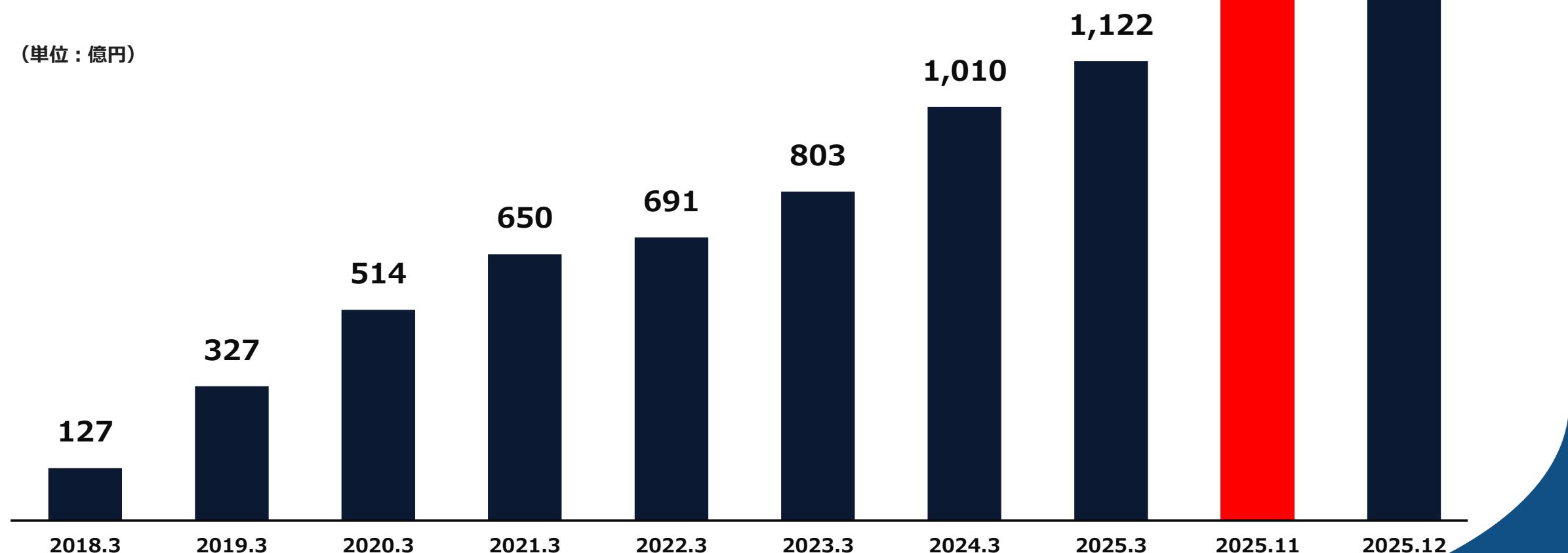
金融を、もっと面白く。

預り資産は 11月中に

当期末目標1,300億円台を前倒し達成！

1,315 1,288*

(単位：億円)

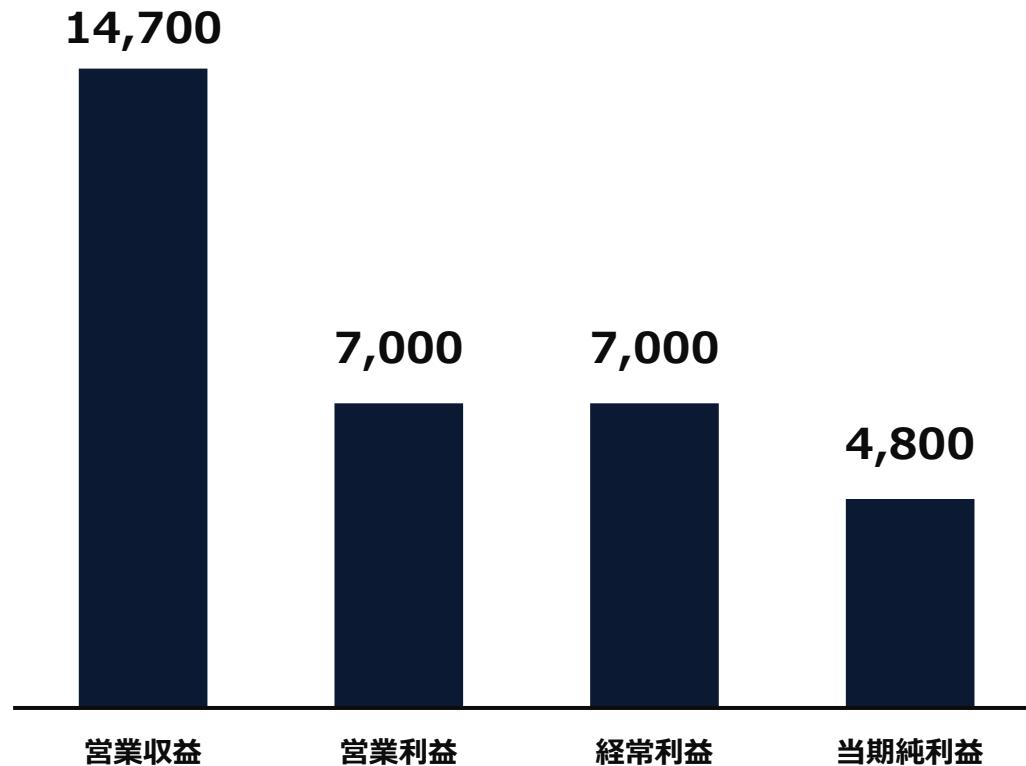


*11月末を期日とする大型キャンペーンを戦略的に配置した影響により、キャンペーン終了後の翌月に反動出金増加が生じた影響で、
12月の預り資産残高が対前月比で一時的に減少

主要通貨のボラティリティ低下が長期化し、
3Qまでの実績が統計的に算出した預り資産に対する予想平均収益率に達しないため、
通期業績予想を下方修正

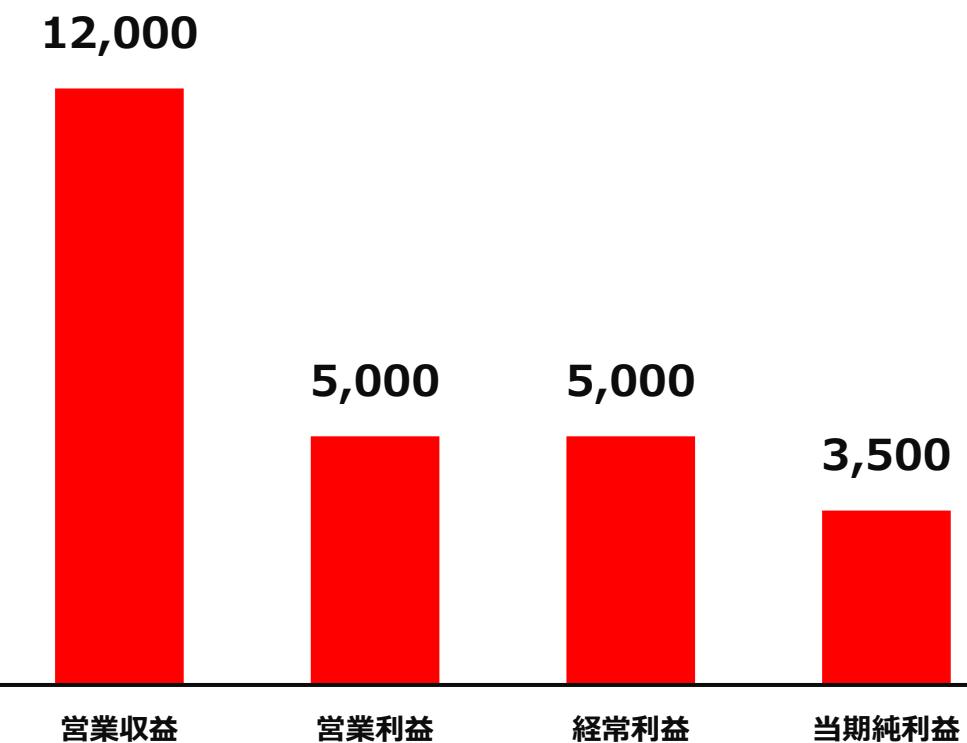
通期業績予想（期初時点）

(単位：百万円)



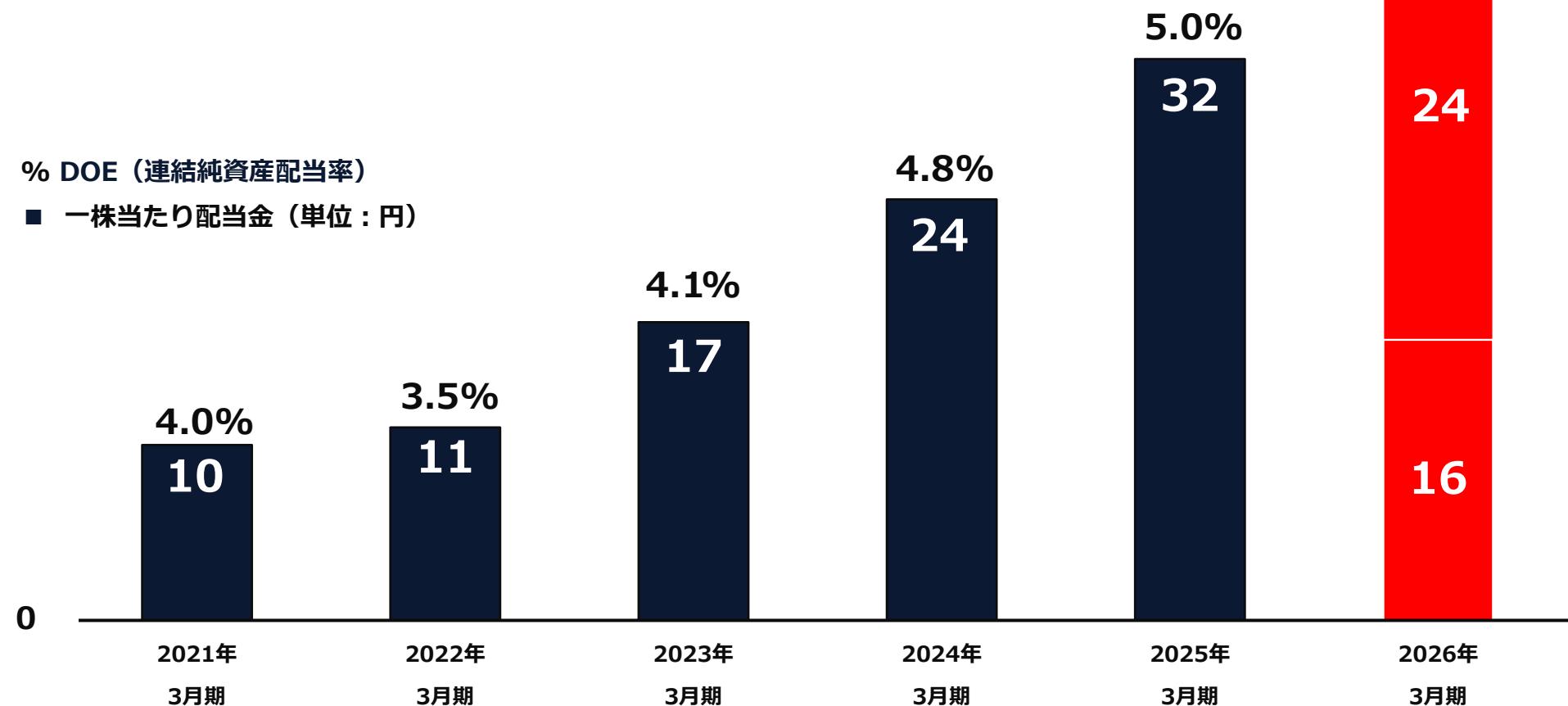
通期業績予想（修正予想）

(単位：百万円)



期末配当金

配当金は配当性向ではなくDOEをベース
5期連続増配へ





金融を、もっと面白く。



FX取引は短期志向から、

長期投資・資産形成として活用される時代へ

高スワップ戦略による円キャリー取引が、^{*}安定的な相場環境と合致
2026年3月期第3四半期の顧客累計利益は

+220億円を突破！

※顧客累計利益は、お客様に発生した評価損益および決済損益を合算したものです。

+220億円

(単位：億円)



2026年3月期

当社グループの競争優位性（金融とシステムの融合）

金融を、もっと面白く。



Create the New Values



01 Cost

完全子会社であるグループ内システム会社による自社開発であるため、グループ全体としては

**原価でシステム開発が可能
開発コストを低減**

02 Speed

トレーダーズ証券とシステム開発担当者が同一オフィス内におり
現場との密接な連携が可能
コミュニケーションロスがなく
改善点の吸い上げ・即時修正対応が可能

サービスリリースまでの早期化が可能

03 Quality

20年以上、FXシステムを開発してきたエンジニアたちが
当社FXシステムに専念し

**圧倒的な安定性と利便性
処理速度を実現**

04 Know-How

長期間FXに関して携わってきたことによる経験によって
高い問題解決能力を保持

自社内にノウハウは蓄積され
将来に渡って**競争力の源泉に**

- 1 2026年3月期 第3四半期業績ハイライト**
- 2 株主還元**
- 3 付加価値を創出する差別化戦略へ向けた新施策進捗**
- 4 2026年3月期の施策進捗**
- 5 Appendix**

金融を、もっと面白く。



2026年3月期 第3四半期 業績ハイライト

2026年3月期 第3四半期 エグゼクティブサマリー

金融を、もっと面白く。



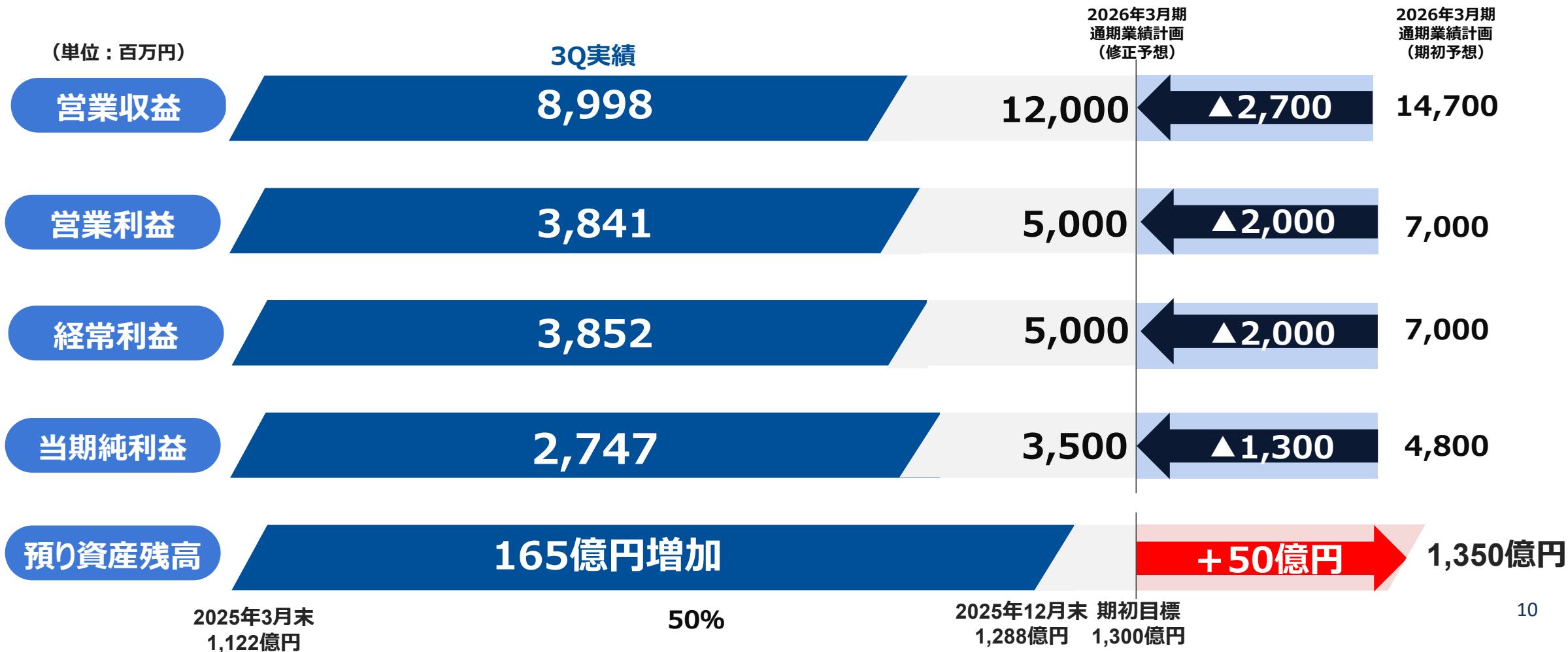
重要KPIである預り資産は計画を上回って進捗、11月末時点では当期末目標1,300億円を前倒し達成
好調な預り資産の増加を背景に、為替のボラティリティが低い相場環境が長期化する局面でも、
毎四半期の営業収益が約30億円となり、底堅く収益を確保（P.11 業績推移 参照）
しかしながら、前年上期に発生した2度の日銀為替介入や、8月の“令和のブラックマンデー”等の急激な
相場変動が発生せず、為替のボラティリティが低い環境の長期化により、収益の進捗が予想より遅れている結果、
通期業績予想について下方修正を行う

	2025年3月期 第3四半期	2026年3月期 第3四半期	前年同期比	
営業収益	10,561 百万円	8,998 百万円	▲ 14.8 %	↗
営業利益	5,611 百万円	3,841 百万円	▲ 31.5 %	↘
当期純利益	3,825 百万円	2,747 百万円	▲ 28.2 %	↘
預り資産	1,122 億円 (2025年3月期末)	1,288 億円	+ 165 億円	↑

2026年3月期通期連結業績予想

- ✓ 第3四半期までの主要通貨における**低ボラティリティ**が第4四半期も継続すると想定し、予想平均収益率を引き下げ、通期営業収益および各利益を下方修正
- ✓ 預り資産はみんなのFXにおけるLIGHTペア導入および当社史上最高のスワップポイントを付与する新通貨ペア導入（イスフラン／トルコ等）など、当社ならではのオリジナルサービスにより、期末目標の1,300億円を11月に前倒し達成したため、当期末の預り資産目標額を50億円増加し、**1,350億円**に上方修正、来期以降の収益貢献を見込む

金融を、もっと面白く。

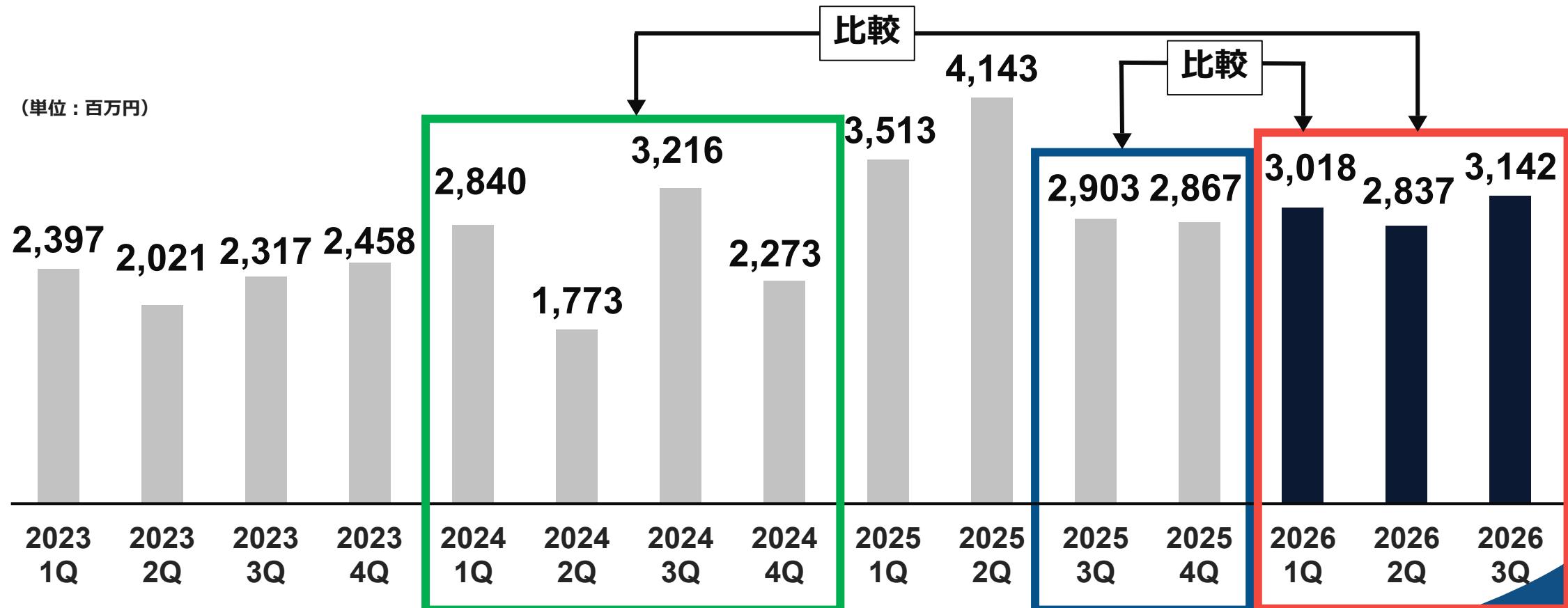


業績推移（営業収益）

金融を、もっと面白く。



- ✓ 前年下期から長期化している低ボラティリティの相場環境でも、四半期ごとの営業収益は約30億円を確保
- ✓ 相場が動かない期間の平均収益力は、既に前々期の四半期営業収益の平均額や前年下期を上回る水準となっており、預り資産の堅調な積み上げが確実に営業収益のベースラインを底堅く押し上げている状況

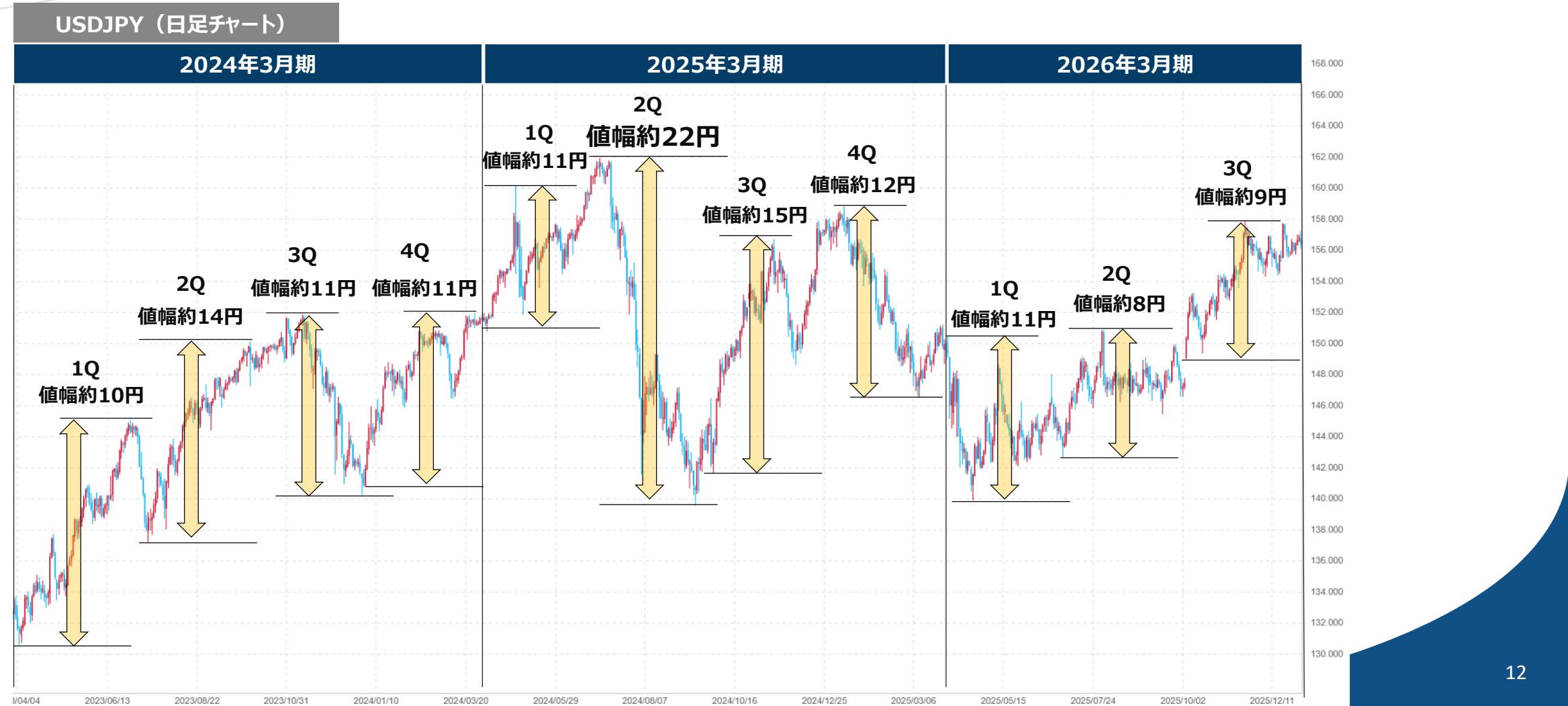


【補足説明①】過去3年分のドル/円チャート推移

金融を、もっと面白く。



- ✓ 過去2期間における四半期ごとのドル／円の値幅はすべて10円以上となっているのに対し、当期は第2・第3四半期ともに値幅は10円以下に縮小しており、相場が膠着状態になっている

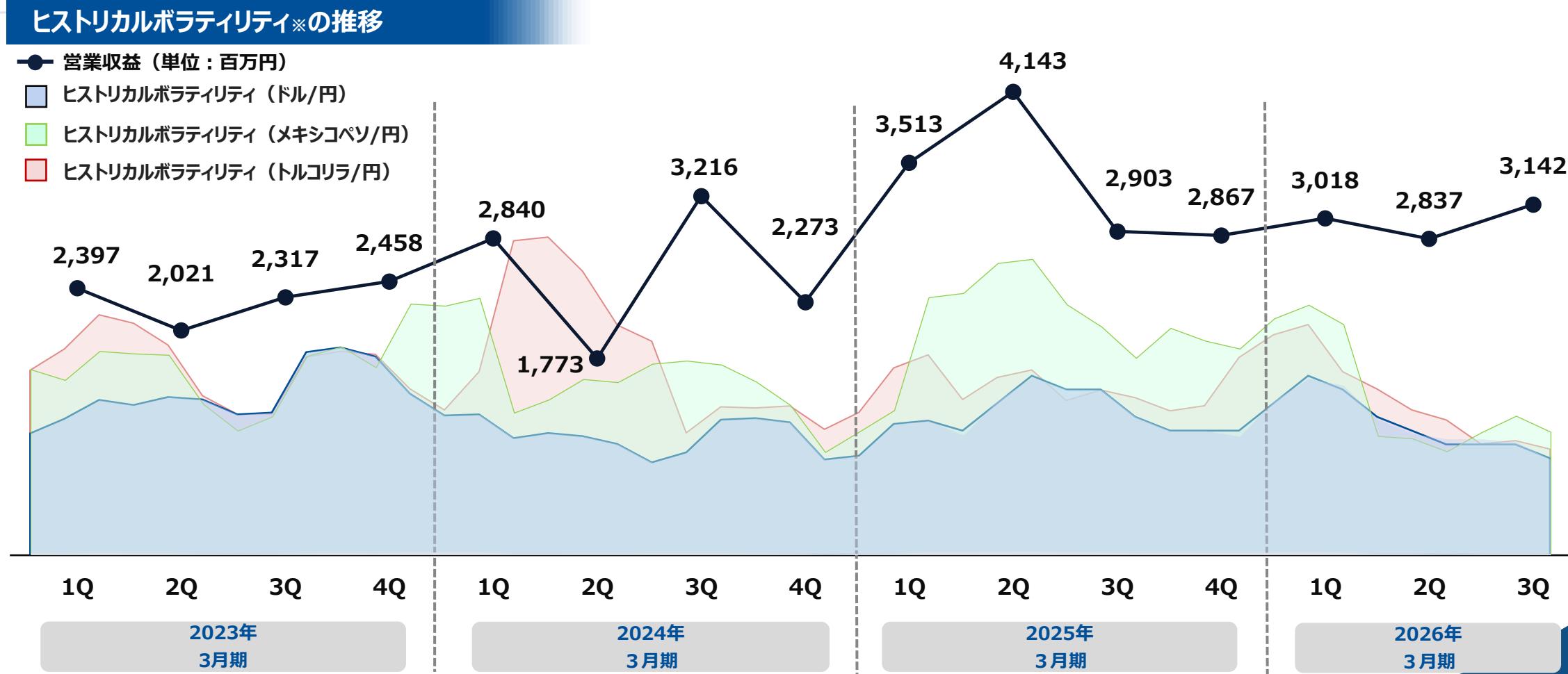


【補足説明②】2026年3月期第3四半期 市況概況

金融を、もっと面白く。



- ✓ 第3四半期もレンジ相場を形成し動意に乏しい相場環境が継続し、主要通貨のヒストリカルボラティリティは低下
- ✓ 当社が注力する高金利通貨のメキシコペソ、トルコリラについてもヒストリカルボラティリティの低下が顕著



※ヒストリカルボラティリティとは、テクニカル分析手法の一つで、過去のデータに基づいて統計的に算出した価格の変動率のこと。

過去の価格変動が小さければ、ヒストリカルボラティリティは小さくなり、過去の価格変動が大きければ、ヒストリカルボラティリティも大きくなる。

上図では四半期会計期間である過去60日の値動きデータに基づき計算。

【補足説明③】当社における顧客建玉数の推移（四半期）

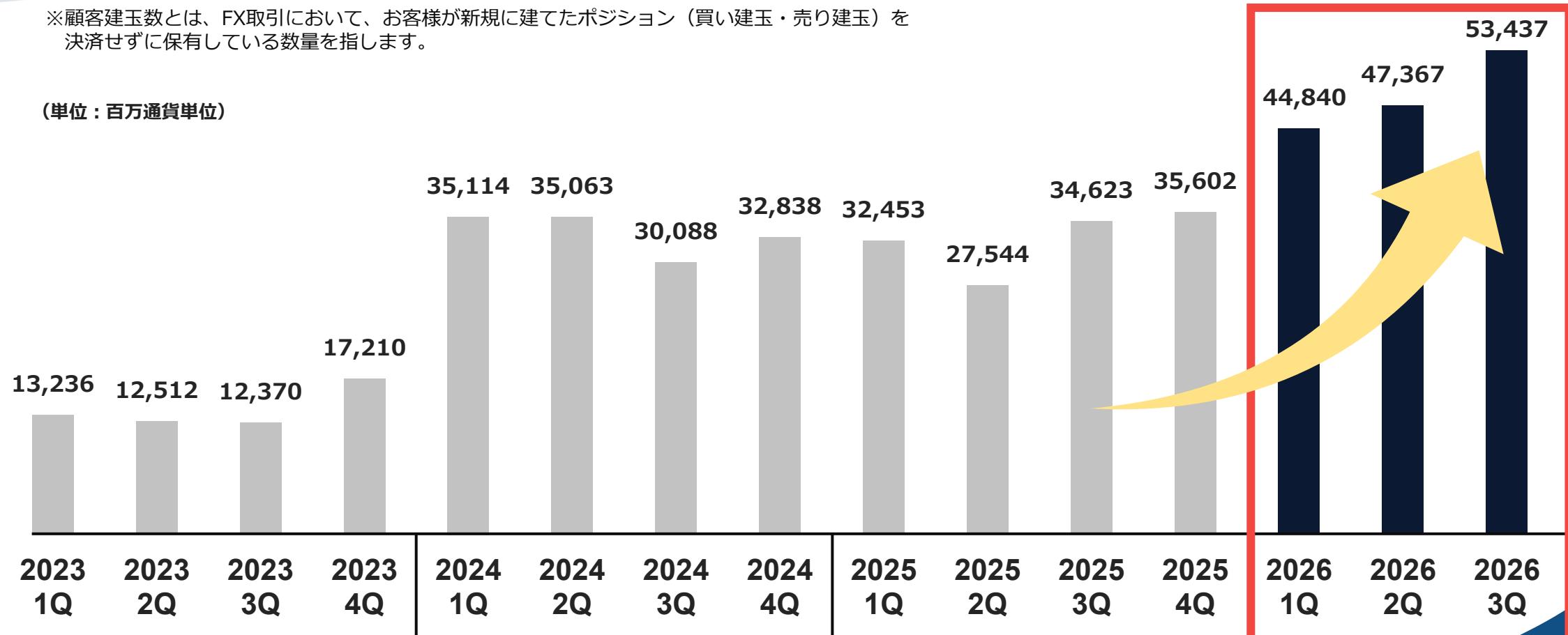
金融を、もっと面白く。



- ✓ 外部環境である相場の膠着以外、**預り資産・建玉・有効証拠金等のファンダメンタルズは極めて良好**
- ✓ 預り資産の好調な増加を背景に新規建取引が増加し、**顧客建玉数は過去最高の残高を連続で更新**
- ✓ 今後相場が大きく動いたタイミングでは決済注文が多数発生するため、**将来収益の増加が期待できる状況に**

※顧客建玉数とは、FX取引において、お客様が新規に建てたポジション（買い建玉・売り建玉）を決済せずに保有している数量を指します。

（単位：百万通貨単位）



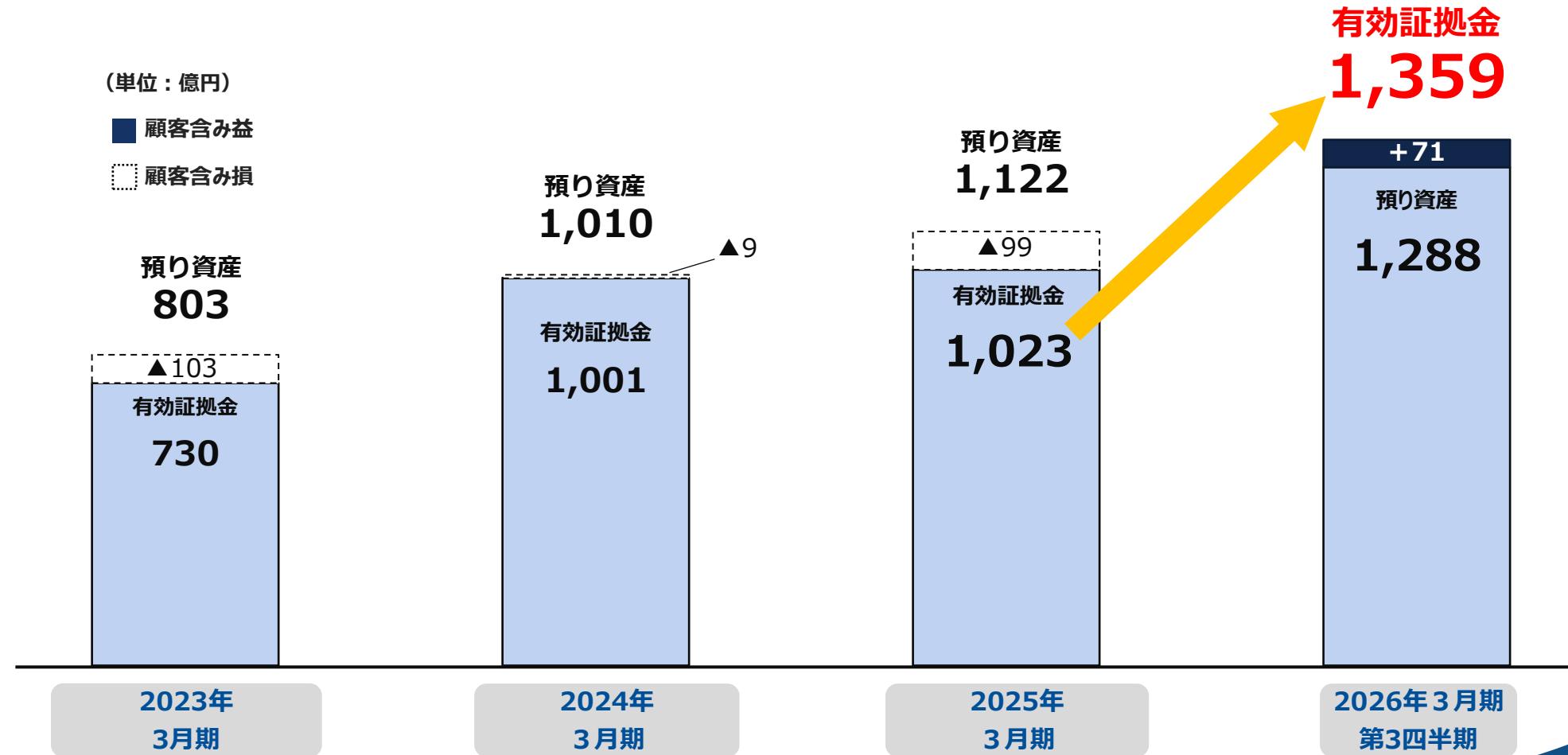
【補足説明④】有効証拠金の推移

金融を、もっと面白く。



- ※
- ✓ 顧客含み益が増加し、**有効証拠金の残高は過去最高に。将来の投資機会に対する余力は高まっている**
 - ✓ 顧客の潜在的な投資余力の増加から、当社の**将来収益の増加が期待できる状況に**

※有効証拠金とは預り資産に未実現損益（建玉の含み損益）を加減した金額です。

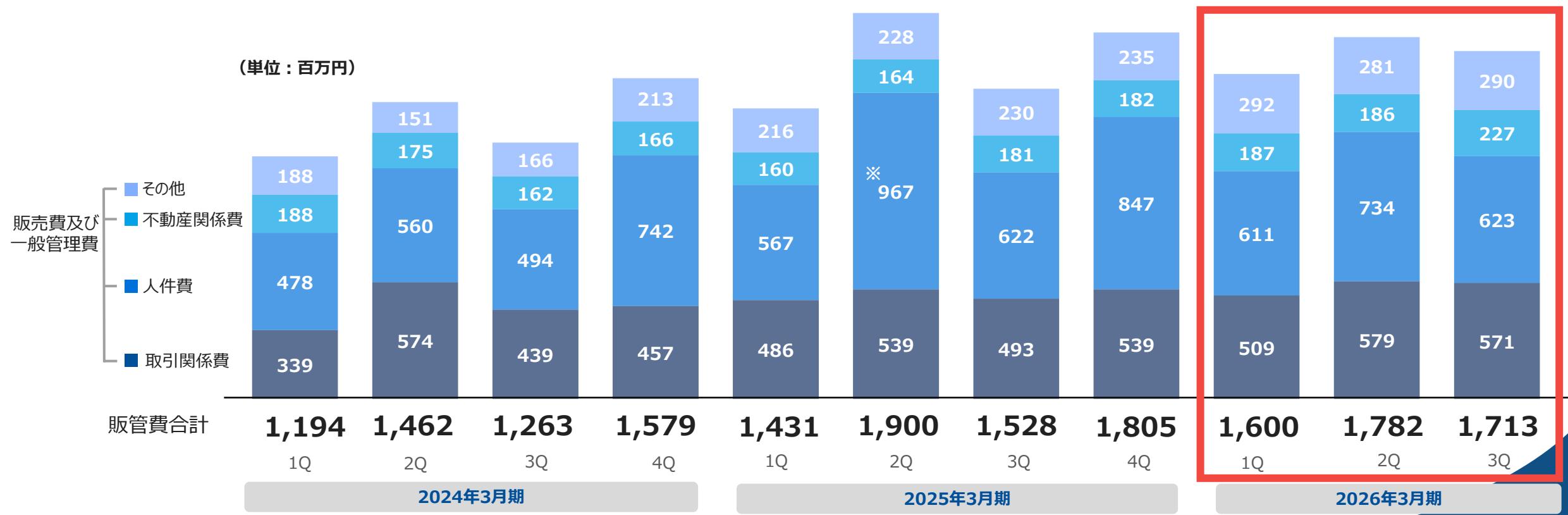


販管費の推移

金融を、もっと面白く。



- ✓ 預り資産の中期経営計画目標達成に向け、マーケティング費用の積極投下に引き続き注力
前期よりも広告宣伝費を増やしている結果、取引関係費は前年同期比で増加して推移
- ✓ なお、当期に重点的に実施している大型キャンペーンによるキャッシュバックは営業収益のマイナスとして計上するため、広告宣伝費には計上されていない
- ✓ 優秀な人材獲得・確保のため、高ROEと高賃金（賃上げの継続）の両立の追求を継続し、人的資本投資として人件費は遞増傾向 働く環境の質向上を目的とした増床に伴い、不動産関連費用が増加



【参考】連結業績の四半期ごとの比較

金融を、もっと面白く。



(単位：百万円)	2025年3月期				2026年3月期			前年同期比
	1Q (2024年4-6月)	2Q (2024年7-9月)	3Q (2024年10-12月)	4Q (2025年1-3月)	1Q (2025年4-6月)	2Q (2025年7-9月)	3Q (2025年10-12月)	
営業収益	3,513	4,143	2,903	2,867	3,018	2,837	3,142	+8.2%
営業利益 (利益率)	2,054 (58.5%)	2,219 (53.6%)	1,337 (46.1%)	1,022 (35.7%)	1,395 (46.2%)	1,034 (36.5%)	1,410 (44.9%)	+5.5%
経常利益 (利益率)	2,051 (58.4%)	2,233 (53.9%)	1,332 (45.9%)	1,033 (36.0%)	1,413 (46.8%)	1,029 (36.3%)	1,409 (44.9%)	+5.8%
四半期純利益 (利益率)	1,485 (42.3%)	1,400 (33.8%)	939 (32.4%)	721 (25.2%)	1,079 (35.8%)	668 (23.5%)	1,000 (31.8%)	+6.4%

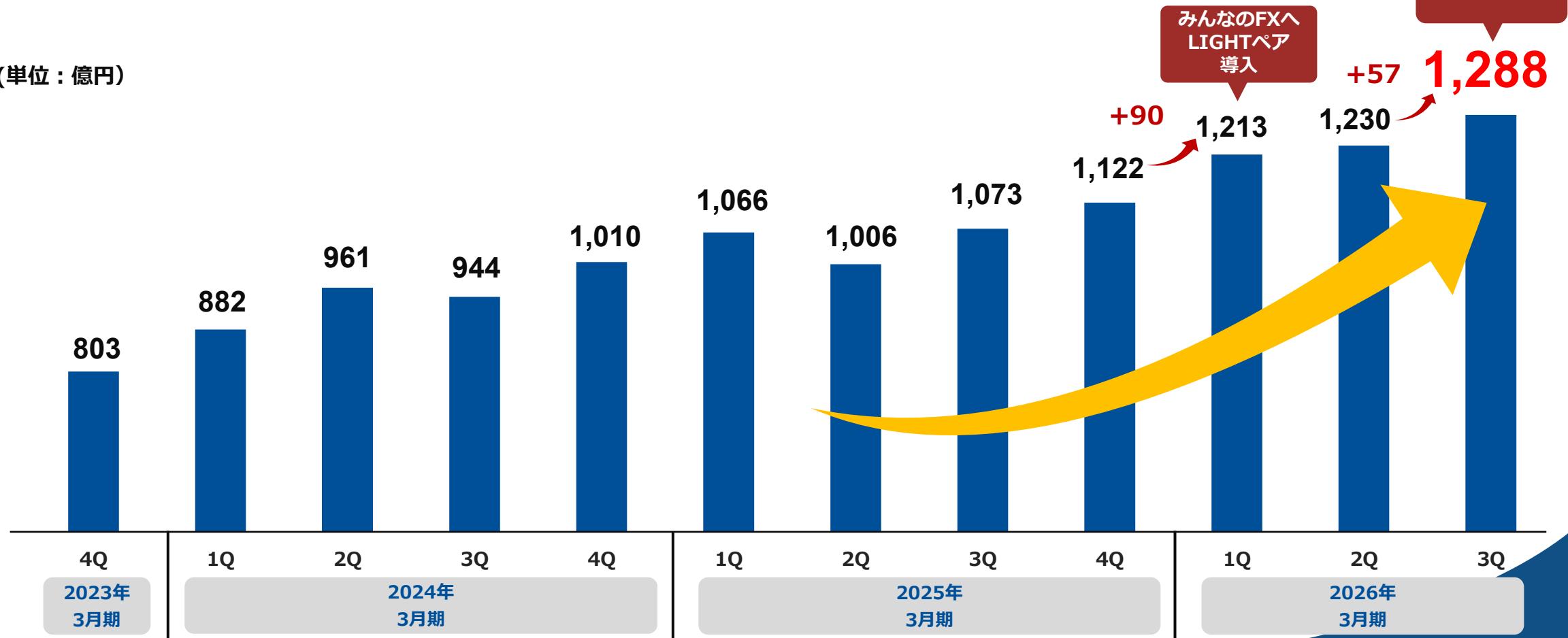
預り資産推移

金融を、もっと面白く。



- ✓ みんなのFXにおけるLIGHTペア導入および当社史上最高のスワップポイントを付与する新通貨ペア導入（イスフラン／トルコリラ等）など、当社ならではのオリジナルサービスにより預り資産は順調に増加
- ✓ 当期は9ヶ月間で**165億円超の積み上げを達成し、1,288億円へ**（計画上の単年増加目標150億円）

(単位：億円)



FX業界における預り資産他社比較

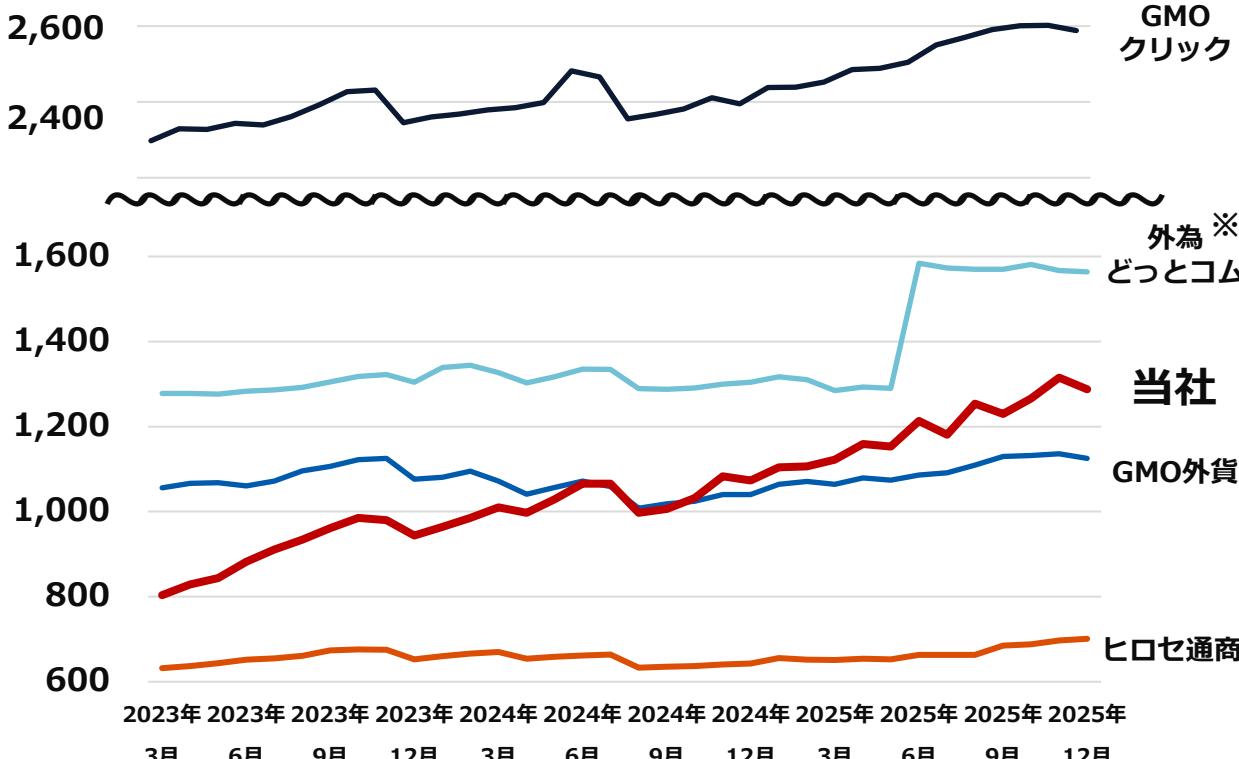
金融を、もっと面白く。



- ✓ スプレッド・スワップなどスペックの競争が熾烈な中、4月のみんなのFX LIGHTペアのリリース、9月のスイスフラン関連の最高スワップ付与の新通貨ペアのリリース、年間を通じた顧客還元を強化した大型キャンペーンの実施などの成果により、当社は第3四半期 9か月累計の預り資産増加額がトップとなる
- ✓ 好調な顧客導入の進捗を背景に、当期末の預り資産目標を1,300億円から1,350億円に上方修正

(単位：億円)

預り資産増減推移

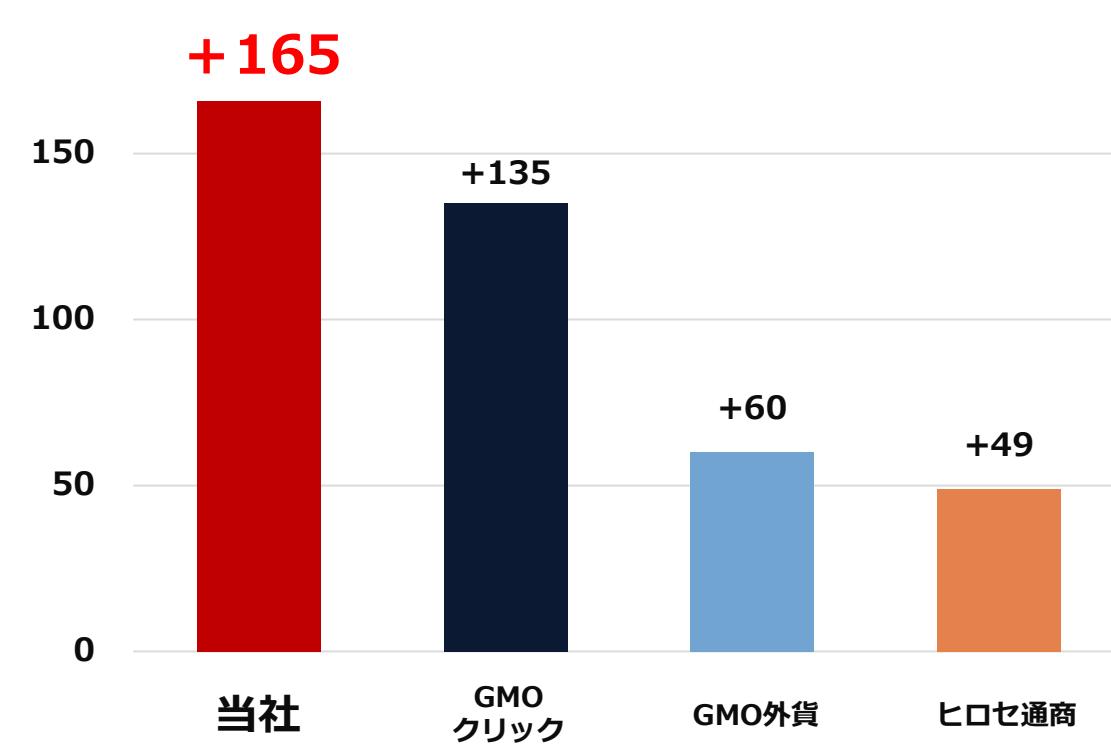


*外為どっとコム社の預り資産は2025年6月28日に行われた

マネーパートナーズ社とのサービス統合に伴う移管分が含まれております。

(単位：億円)

預り資産増減表
(2025年4月～2025年12月)



出典：FXに関する月次預り資産をウェブサイト又は開示書類で公表している企業より掲載しております。

2026年3月期第3四半期 市況概況

金融を、もっと面白く。



USDJPY (日足チャート)



市況概況

第3四半期のドル/円相場は、10月には自民党総裁選で高市氏が勝利したこと、将来の財政拡張期待や日銀利上げ観測後退が強まり、円は弱含みとなった。これを背景に、ドル/円は一時150円台後半へ上昇。11月はドル/円がドル高・円安方向を継続。市場では米国の経済指標や米中関係の動向を見極める動きが強く、特にドル買いが優勢となる地合いが続いた。12月は155円台前後でもみ合う展開となり、年末のポジション調整が進む中でのレンジ圏推移となった。中盤には、日銀が短期金利を0.5%→0.75%へ引き上げるなど、金融政策正常化の動きが意識され、これが一定程度円支援材料として作用された。

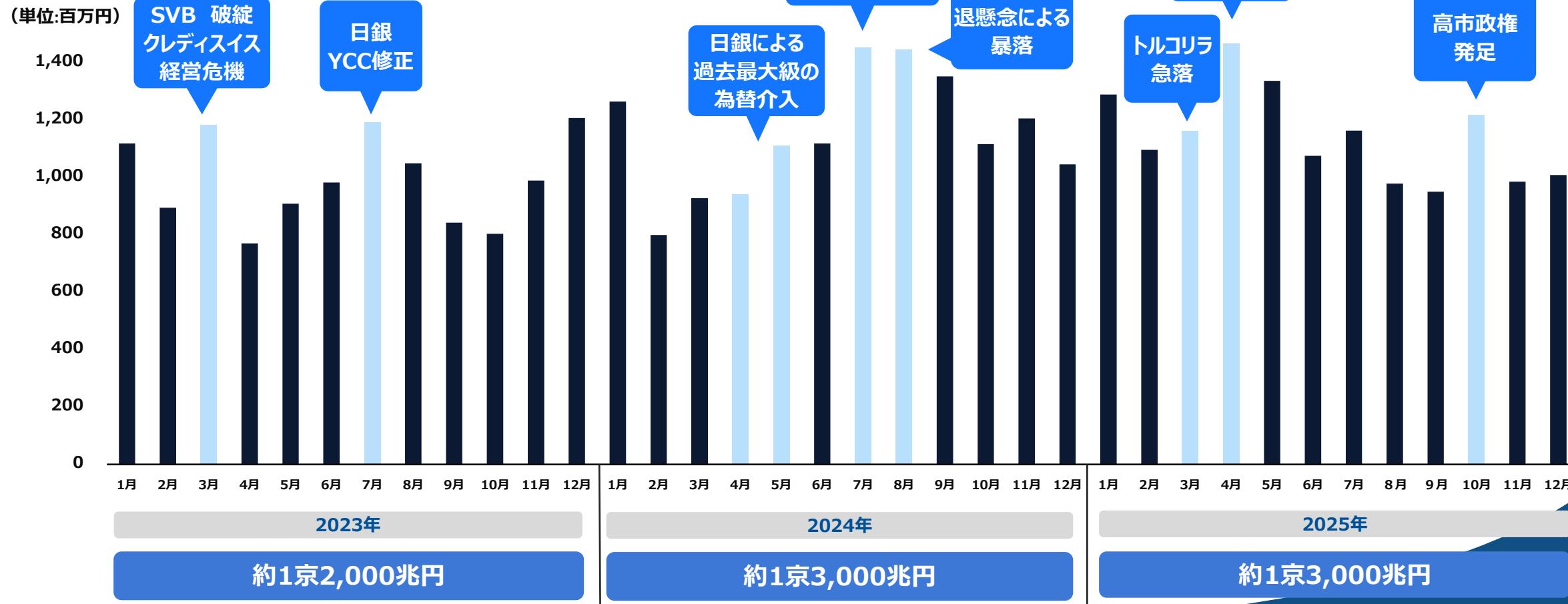
国内FX市場全体の取引高推移

金融を、もっと面白く。



- ✓ 高市政権発足の影響をうけ一時的に取引額は増加するも落ち着いた状況に

店頭FX取引額の状況（国内）

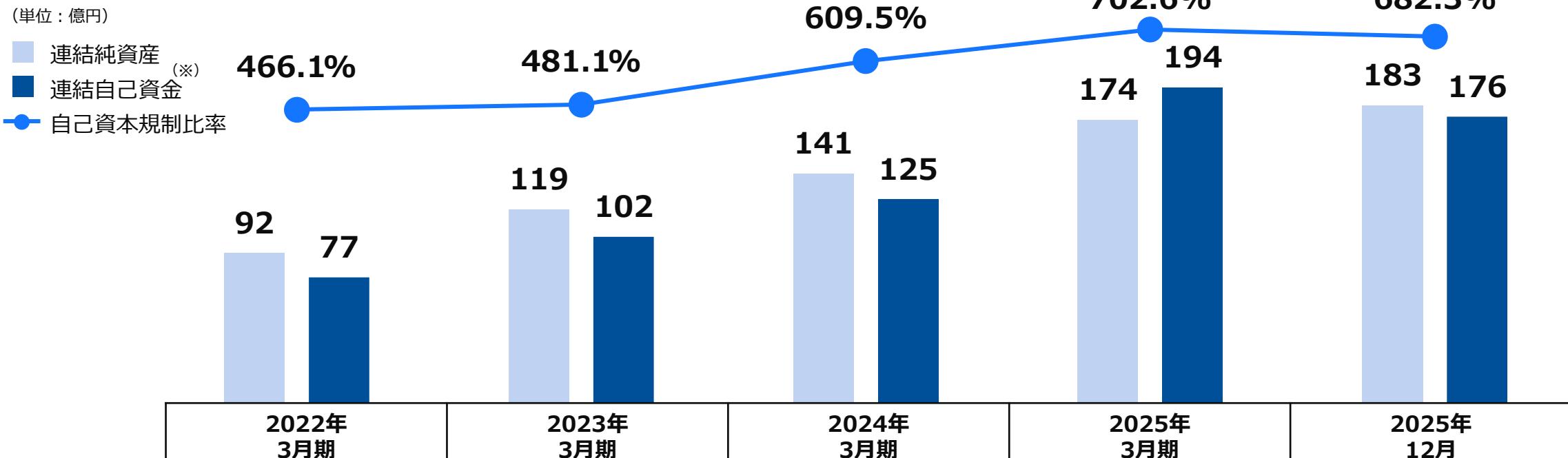


連結純資産および連結自己資金並びに財務安全性の推移

金融を、もっと面白く。



- ✓ 自己資本規制比率は600%超で推移し、ストレステストの余裕率、将来のFX事業拡大に対するリスク許容度は安定
- ✓ 預り資産が増加している中で建玉量増加に伴いリスク量が増加傾向にあるため、リスク合計の増加に見合う自己資本を確保し、取引制限により収益機会を逃す機会損失を減らす財務管理が重要になる
- ✓ トレイダーズ証券の自己資本の増強が将来の収益獲得のために重要であり、資本の内部留保が事業への再投資と同義



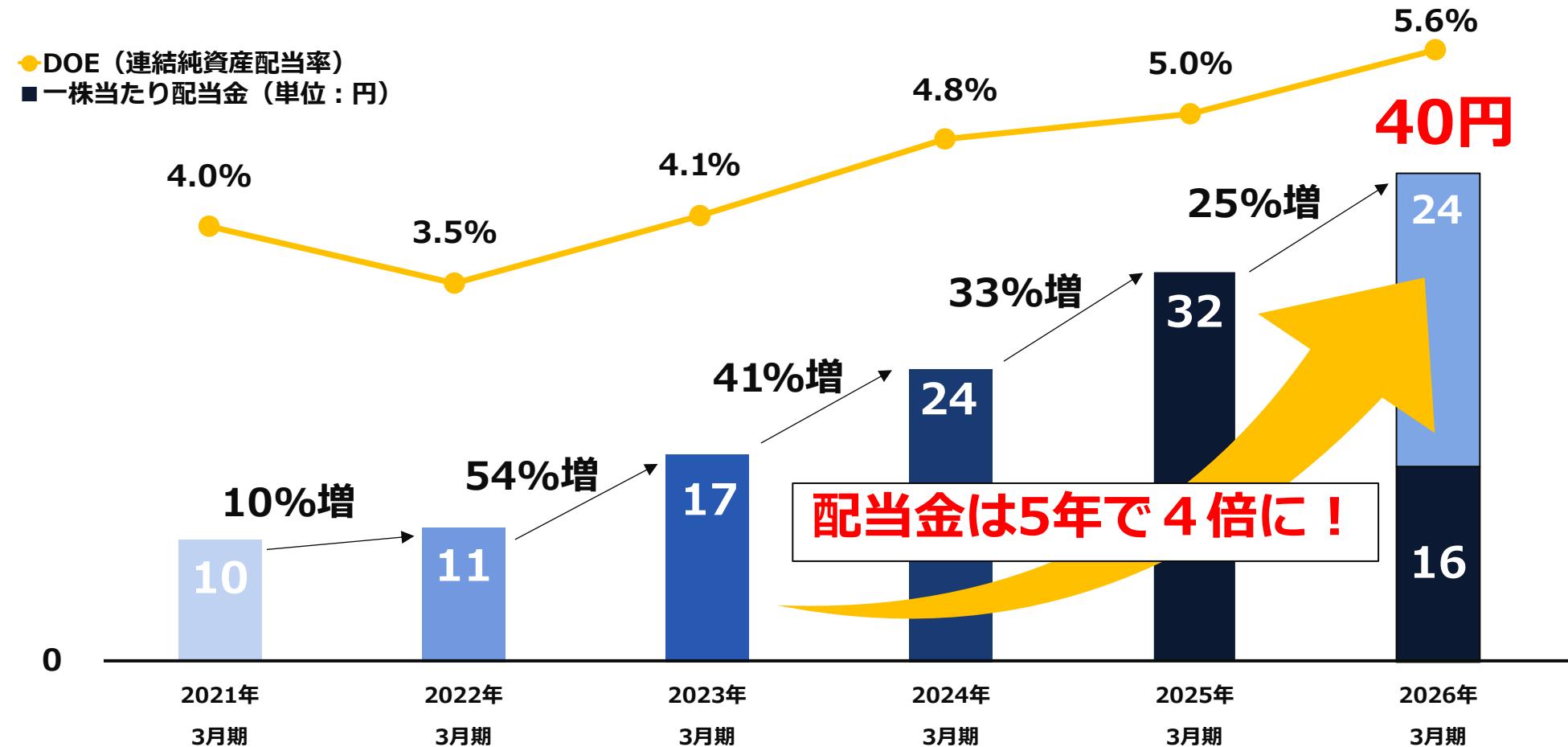
(※) 連結自己資金 = 連結現金預金 + 短期差入証拠金 - 有利子負債
(資金のうち顧客分別金を除いた当社グループに帰属する短期の自己資金)

金融を、もっと面白く。



株主還元

- ✓ 期末配当金予想は**24円**となり通期配当金は**40円**を予定 **5期連続増配へ**
- ✓ 還元方針：連結純資産配当率（DOE）4%を目安に安定的な配当および機動的な自社株買いを実施
DOEを還元方針とすることで単年の収益に左右されず、**黒字である限り**安定的な増配を実現
- ✓ 配当開始以降、**5期連続で増配** DOEは**5.6%** 5年間で年間配当金額は**4倍**に



金融を、もっと面白く。



付加価値を創出する差別化戦略へ向けた 新施策進捗

知財戦略による持続的成長基盤の構築

金融を、もっと面白く。



» 当社は中期経営計画において「技術的価値の権利化」を成長戦略の中核に位置づけ前期より本格稼働
社内に蓄積してきた技術力・ノウハウ・独創的なアイデアを知的財産として権利化することで、
企業価値の向上と持続的成長の実現を目指し、**特許取得第1号を達成**

「高収益モデルの模倣困難性」と「成長の再現性」を実現

- 1 高収益な商品設計・UIや独自AI技術を知財で囲い込み、**模倣困難性を高める**
- 2 競争優位の持続を支える**中長期的な参入障壁の確立**
- 3 技術を軸とした差別化による、**加熱する価格競争からの脱却**
- 4 将来の事業拡張・サービス展開を見据えた、**収益源多様化への布石**

⇒ **知財戦略は、当社の中長期的成長を支えるドライバーと位置付け**

成長を生む攻めの知財と、安定を支える守りの知財

攻

- ✓ みんなのシストレにおける
ストラテジー拡充による収益化の推進 (特許出願中)
 - ・来期以降、本格成長フェーズに入る「みんなのシストレ」に
多数の新規ストラテジーの搭載を予定
 - 搭載されるストラテジーに関して **多数の特許を既に申請済み**
 - ・模倣リスクを抑制しながらラインナップを拡張
ストラテジー増加は**シストレ収益増加の基盤**に
- ✓ AIチャートシステム (特許出願中)
特許出願中のAI技術を活用した独自のチャート分析システム
により、投資判断を支援する付加価値の高い情報提供を実現
分析ロジックや表示手法の独自設計を通じて、
サービスの差別化と競争優位性を構築

守

- ✓ LIGHTペアに関する技術 (特許取得済み)
 - ・すでに大きく収益貢献しているLIGHTペアに関する
ビジネスモデルを特許化
 - ・当社独自のUI、システム設計に関し特許で保護
 - ・参入障壁構築および模倣防止策で牽制
- すでに実証されている高収益モデルを、
知的財産によって構造的に保護

その他多くの技術について現在特許出願中

新規事業領域の確保と保護を推進

⇒金融事業に付加価値を創出し、隔壁を構築するため、
知財戦略を本格的に推進する

金融を、もっと面白く。



2026年3月期の施策進捗

2026年3月期の取り組み（商品性）

金融を、もっと面白く。



» 2025年9月に導入した当社史上最高のスワップポイントを提供しているスイスフラン新通貨ペアは
ほぼ当社独占状態 非常に順調に成長し取引も活況 預り資産増加と共に安定的な収益獲得に貢献

- ✓ 超低金利のスイスフランと新興国の高金利を掛け合わせた通貨ペアで**当社史上最高のスワップポイント**
- ✓ 超低金利のスイスフランを軸とするフランキャリー取引は**ほぼ当社独占状態**
- ✓ 顧客から高い支持を得て、激化するスワップ競争をリード 安定的な収益源に

The graphic is a promotional banner for the introduction of a new currency pair on September 29, 2025. It features a blue and red design with text in Japanese and small flags for Turkey, South Africa, and Mexico.

2025/9/29 新通貨ペア取引開始

当社史上最高の**売スワップポイント***が貰える!?

*売ポジションを保有して翌営業日まで持ち越した際に付与されます。

超低金利通貨 × 高金利通貨

+ スイスフラン

トルコリラ 南アフリカランド メキシコペソ

その他2種類の通貨ペアを新規追加!

2026年3月期の取り組み（マーケティング）

金融を、もっと面白く。



» 当社の強みであるスワップポイント強化キャンペーンが奏功し預り資産増加に貢献 顧客の収益機会拡大にも寄与

- ✓ 「50%スワップ増額キャンペーン」「スワップNo.1チャレンジキャンペーン」などの当社の強みであるスワップポイントをさらに強化その他にも顧客ニーズを取り込んだ魅力的なキャンペーンを複数開催
- 預り資産増加、顧客満足度向上、顧客収益機会拡大に寄与
- ✓ FX投資未経験者層に向けた訴求を強化し、さらなる新規口座開設獲得数の増加を図る



» 【みんなのFX・LIGHT FX】2026年 オリコン顧客満足度®調査 FX スワップポイントランキング 第1位を獲得
通貨ペアの拡充やLIGHTペアによる取引環境の向上、スワップポイント条件強化に向けた継続的な取り組み、
お客様目線に立ったプロモーションおよびキャンペーンの積み重ねが高く評価され、1位を獲得

- ✓ 当社史上最高のスワップポイントを提供する
スイスフランと高金利通貨を組み合わせた
通貨ペアの取扱の開始や
「スワップNo.1チャレンジキャンペーン」
「最大50%スワップ増額キャンペーン」など、
**スワップポイントに特化したキャンペーンの
継続実施を強化**
- ✓ 「トレーダーズといえばスワップポイント」という
イメージがさらに強められ、
初心者からFX経験者まで幅広い層へ向け訴求



» ロバート秋山さんを新CMに起用！7月より放映開始！

ロバート秋山さんの個性的な表現力を活かし、FX未経験者、経験者ともにブランド認知度向上へ

- ✓ ロバート秋山さんが様々な職業の最前線に立つ人になりきって演じる「クリエイターズ・ファイル」より、4人をイメージキャラクターとして起用
- ✓ 当社の強みであるスワップポイント投資の魅力について訴求
- ✓ 新CM 特設ページ
<https://min-fx.jp/specialpage2025/>



2026年3月期の取り組み（新規施策）

金融を、もっと面白く。



» 公式YouTubeチャンネル「トレイダーズ証券～金融を、もっと面白く。～」を開設

投資・お金に関する幅広い日常の疑問や関心を入口とした動画コンテンツを中心に配信 金融や投資をより身近な存在として感じていただけるよう、わかりやすく解説し、さまざまな方が楽しめる動画コンテンツを提供

- ✓ 初回企画は投資に関するいろいろをテーマに
では、お笑いコンビ・ラランドのニシダ氏
等をゲストに迎え配信
- ✓ チャンネル名
「トレイダーズ証券
～金融を、もっと面白く。～」
<https://www.youtube.com/@traderssec.chno1>



» 収益性の向上を目指し、Prime Brokerage契約の拡充を計画
国内外の金融機関をカバー取引先として追加し、より良い取引条件の提供とリスク分散を実現

【主要なカバー取引先】

- ・バンク・オブ・アメリカ
- ・バークレイズ銀行
- ・シティバンク
- ・コメリツ銀行
- ・ドイツ銀行
- ・JPモルガンチェース銀行
- ・スタンダードチャータード銀行
- ・UBS銀行
- ・OCBC証券
- ・SBIリクイディティ・マーケット
- ・三井住友銀行
- ・三菱UFJ銀行
- ・大和証券

【2026年3月期】

- ・ゴールドマンサックス証券（6月）
- ・HSBC（12月追加）
- ・BNPパリバ（12月追加）



全20社超の金融機関
カバーコスト低減（最良プライスの追求）
による収益最大化

CVCファンドの出資状況

金融を、もっと面白く。



» 2023年4月設立のCVCファンドによる出資は順調に進捗

当社ビジネスとのシナジー効果が見込まれる革新的技術やESG経営推進に資する企業への戦略的出資を通じて、出資先の成長をサポートし、新たなビジネスの柱を構築

出資時期	投資先	事業内容	狙う効果
1 2023年7月	ドクターズ株式会社	医療DXを事業領域とした事業開発関連の統合的なソリューションの提供	当社顧客へオンライン医療サービス提供し顧客満足度の向上を図る
2 2023年11月	株式会社Helpfeel	検索ヒット率98%を誇る検索型FAQシステム「Helpfeel」を開発・提供	当社サービスサイトにおけるFAQの品質向上
3 2024年3月	株式会社ArktusTherapeutics	京都大学iPS研究所および佐賀大学の研究成果を基盤に、iPS細胞由来の軟骨製品の開発	健康寿命の延伸によるウェルビーイングな暮らしとサステナブルな社会の実現
4 2024年9月	リジェネフロ株式会社	腎疾患の患者由来iPS細胞を用いた創薬に基づき見出した低分子医薬品の開発やiPS細胞から誘導する独自技術を用いた腎疾患の再生医療等製品の開発	ヒトiPS細胞を用いた革新的な再生医療に取り組むリジェネフロ社への出資を通じて、一人ひとりのウェルビーイングな暮らしとサステナブルな社会の実現に貢献
5 2025年11月	株式会社ラボル	フリーランス・個人事業主やSMB（小規模事業者）の資金調達を支援する金融サービス事業と、事業者向け資金情報サービスを提供するメディア事業	同社のフィンテック技術や金融商品開発のナレッジを活用し、当社グループの新たな金融サービス開発を加速することで、「テクノロジー×金融」戦略の推進に寄与

※ 公表している投資先のみ掲載しております。

CVCファンドによる投資額は連結貸借対照表の投資有価証券に含まれます。

金融を、もっと面白く。



Appendix

株式会社シェアードリサーチによるアナリストレポート公開

金融を、もっと面白く。



- ✓ 株式会社シェアードリサーチによる
当社のアナリストレポートが公開
[https://www.tradershd.com/pdf/report/
8704_JP_20260119.pdf](https://www.tradershd.com/pdf/report/8704_JP_20260119.pdf)
- ✓ 第三者視点からの調査・分析に基づいて作成され、
当社の事業概要や中長期の成長戦略等を網羅的に記載
今後は四半期ごとの業績発表に合わせ内容を更新
- ✓ 全文英訳レポートは3月以降に公開予定
英訳レポートの公開を通じて、
海外機関投資家への積極的なアプローチを実施

カバーページ開始日: 2026年1月19日
最終更新日: 2026年1月19日

Shared Research

8704
トレーダーズホールディングス

企業正式名称 トレーダーズホールディングス株式会社	本社所在地 東京都渋谷区恵比寿4-20-3恵比寿ガーデンプレイスタワー
上場市場 東証スタンダード	決算月 3月
設立年月日 1999年11月5日	上場年月日 2005年4月7日

当レポートは、掲載企業のご依頼により株式会社シェアードリサーチが作成したものです。投資家の各企業の『取扱説明書』を提供することを目的としています。正確で客観性・中立性を重視した分析を行なうべく、弊社ではあらゆる努力を尽くしています。中立的でない見解の場合は、その見解の出所を常に明示します。例えば、経営側により示された見解は常に企業の見解として、弊社による見解は弊社見解として提示されます。弊社の目的は情報を提供することであり、何かについて説得したり影響を与えたりする意図は持ち合わせておりません。ご意見等がございましたら、sr_inquiries@sharedresearch.jpまでメールをお寄せください。

Research Coverage Report by Shared Research Inc.

3年連続で「JPX日経中小型株指数」構成銘柄に選定



JPX-NIKKEI Mid Small

2023 - 2025年度選定

資本の効率的活用や投資者を意識した経営観点など、「投資者にとって投資魅力の高い会社」が採用される
「JPX日経中小型株指数」に3年連続で選定されました

□ JPX日経中小型株指数とは

- ✓ JPX総研と日本経済新聞社が共同で算出した、JPX日経400と同じコンセプトを中小型株に適用し、
持続的な企業価値の向上、株主を意識した経営を行っている企業で構成する株価指数
- ✓ 東京証券取引所のプライム市場、スタンダード市場、グロース市場の対象銘柄の中から、
定量的な指標のスコアリングに加え、定性的な要素をえた基準で行われ、**上位200銘柄が選定**

□「Forbes Asia's 200 Best Under A Billion 2025」に選定！

Forbes Asia BEST UNDER A BILLION

- ✓ アジア太平洋地域の年間売上高1,000万ドル以上10億ドル未満の上場企業2万社以上を対象に、過去12カ月間かつ3年間にわたる売上・利益成長、及び5年間のROE の高さ等の総合的な実績に基づいて優良な業績を収めている企業 200社を選出したもの
当社は2023年にもForbes Asia's 200 Best Under A Billion に選定されました
- ✓ 今回選出された200社のうち日本企業は25社でプライム市場14社、スタンダード市場3社、グロース市場8社
半数以上がプライム市場上場企業の中から選定
- ✓ 選定に際しては、定量的な業績基準だけではなく、企業における深刻なガバナンス問題や疑わしい会計処理、環境問題、経営問題、法的トラブルを抱える企業を除外するなどの定性的な選別も行われている

Sustainability Policy

トレイダーズグループの考えるサステナビリティ

これまで、わたしたちは様々なステークホルダー、すなわち株主、投資家、お客様、お取引先、社員、関係諸機関等と適切に協働し、もしくは支援を得ながら、企業として少しずつ成長の道を歩んでまいりました。

当社グループは、上場会社として、また、様々な事業を営む企業体として、自己の利益だけを追求することなく、これからも、金融商品取引事業とシステム開発コンサルティング事業のそれぞれの活動そのものの中で、長期的に社会や環境に貢献しうるマテリアリティへの取り組みを進めてまいります。

今後、当社グループの成長をけん引するために、ステークホルダーとの協働により、社会的価値と経済的価値を向上させ、または、創造する取り組みを推進することこそが、社会や環境面におけるサステナビリティを巡る諸課題に対する、わたしたちの義務と責任であり、使命であると考えています。

社会的な課題の解決のために

金融リテラシー向上への取り組み①

学習院大学「キャリアデザイン」講座において、金融経済教育に関する出張授業を実施

金融経済に関する基礎知識の習得にとどまらず、より建設的な資産形成へ意識が変化

4 質の高い教育を
みんなに



学習院大学竹内上人特別客員教授の「キャリアデザイン」講座において、金融経済教育に関する出張授業を実施

竹内客員教授が主管されている「キャリアデザイン」講義の金融・投資理論とキャリアデザインの本質的親和性に着目し、より実践的な金融経済教育を通じて受講生の皆様のキャリア形成にささやかながら寄与できればとの思いから、トレイダーズ証券取締役の井口が特別講義を実施いたしました。学生からは「従来、投資に対してはギャンブル的側面が強く、損失リスクを懸念していたが、本講義を通じて適切な金融リテラシーを身につけることで、長期的視点において資産形成の有効な手段となり得ることを理解した。」「長期・積立・分散投資の原則と複利メカニズムについて深く学ぶことができた。元本に対する利息が新たな元本となり、さらに利息を生み出すという複利の構造は、時間軸を味方につけた資産形成の核心的要素であることを認識した。」と非常に満足度の高いコメントを頂戴しました。



MISSION

ミッション

金融を、もっと面白く。



新たな価値を創造し続ける

Create the New Values

VISION

ビジョン

お客様から最も信頼される“FinTech”グループとなり、
だれもが未来に投資できる社会を実現させる

VALUE

バリュー

トレイダーズ
ホールディングス

関わるすべての“人”を大切にしながら、
コンプライアンスとダイバーシティ（多様性）を尊重した経営で、
変革にチャレンジし続ける

トレイダーズ証券

金融リテラシーの向上に貢献しながら、
お客様と社会が求める新たなサービスの提供にチャレンジし続ける

FleGrowth

競争力のあるサービスを提供しながら、スピード感をもって
安定的かつ革新的なシステム開発にチャレンジし続ける

本資料に関する注意事項

当資料に掲載されている事業戦略や目標数値、見通し等の将来予想に関する記述は、当社が現時点で入手可能な情報に基づいて判断した内容であり、実際の業績等の結果は、今後の経済情勢や事業環境、為替市場の動向等、様々な不確定要素その他リスク等に起因して、記述とは大きく異なる可能性があります。

また、マーケットシェアや市場規模等の数値について一部当社の推計値が含まれており、調査手法等によって異なる可能性があります。

本資料は、投資勧誘を目的としたものではありません。

本資料に関するお問合せ

トレーダーズホールディングス株式会社
ir@tradershd.co.jp (IR担当)



金融を、もっと面白く。